

令和5年(2023年)11月28日

保護者の皆様へ

札幌市立もみじの丘小学校
校長 坂本友美

全国学力・学習状況調査から

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、今年度の4月に6年生が実施しました「全国学力・学習状況調査」における結果につきましてご報告いたします。本校の結果分析を踏まえて指導方法等の工夫改善を図って参りますので、ご理解とご協力の程お願いいたします。

【小学校国語】教科に関する調査結果概要及び改善の方向等について

本 校 の 概 要

今回の調査における課題

改 善 の 方 向

国
語

【内容】

▼「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

▼「情報の扱い方に関する事項」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

▼「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

▼「書くこと」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

◆「読むこと」

- ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるがやや下回っている。

➤ 学年別漢字配当表に示されている漢字を分の中で正しく使うこと。

➤ 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。

➤ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
➤ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考え方が伝わるように書き表し方を工夫すること。
➤ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

➤ 同音異義語に注意し、漢字のもつ意味を考えて使う学習活動の充実。

➤ 情報と情報の関係には、原因と結果等関係があることを理解し、様々な情報の中から、情報と情報の関係を見だし、整理して捉える学習活動の充実。

➤ 話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして自分の考えをまとめる活動の充実。

➤ 図表やグラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する学習活動の充実。

➤ 書いた文章の感想や意見を他者と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたり、よりよい表現に見直したりする活動の充実。

【小学校算数】教科に関する調査結果概要及び改善の方向等について

算
数

【領域】

▼「数と計算」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

➤ 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること。

➤ 一の位が0の二つの2位数の乗法の計算の仕方について、図などを用いて考える活動の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

算数

【領域】

▼「図形」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

◇「変化と関係」

- ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるがやや上回っている。

▼「データ活用」

- ・全国平均に比べ、下回っている。

➤正三角形や台形の意味や性質について理解すること。

➤伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさと求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。

➤示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること。

➤実際に正三角形や二等辺三角形、台形などの形を作る活動や敷き詰める活動などを通して、基本的な図形について理解が深まる学習活動の充実。

➤伴って変わる二つの数量について、比例関係であることを用いて求め方を考え、説明する活動の充実。

➤目的に応じて分類整理された複数のグラフを比べ、見いだしたことを、他者に表現する活動の充実。

【児童質問紙調査の結果】「(どちらかといえば) している (当てはまる)」という肯定的な回答の割合から

児童質問紙調査の結果

■全国と本校児童を比較して、5ポイント以上全国平均を上回っている質問

◇人が困っているときは、進んで助けていますか。

◇家で自ら計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)。

◇新聞を読んでいますか。

◇読書は好きですか。

◇今住んでいる地域の行事に参加していますか。

◇日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいですか。

◇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

◇国語 (英語) の勉強は好きですか。

読書が好きな子の割合が多く、読書量も多いです。また家にある本の数も、全国の割合と比べても多いです。各家庭のご協力と学校開放図書館を両輪とした、読書習慣の形成や「読書まつり」などのイベントにおける読書へのきっかけづくりなどの効果が高いことが見受けられます。また、地域に対する思いや親しみが深く、世界に目を向け関心を高める回答が多く見られました。

■全国と本校児童を比較して、5ポイント以上全国平均を下回っている質問

◆将来の夢や目標をもっていますか。

◆5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

◆5年生までに受けた授業では、各教科に学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

◆解答時間は十分でしたか (算数)

振り返りの場を設定するなど、自らの伸びや成長を実感できる場を充実させることで自己肯定感や自己有用感を伸ばし、一人一人が自信を深めていけるよう関わっていきます。引き続きご家庭においても『まほうのかいわ』『プラスのまほう』を活用し、子どもたちの挑戦や目標の達成に向けて後押ししていただけるような環境づくりへのご協力をいただけると幸いです。